

モニタリング結果報告書

施設 葉山港

指定管理者 株式会社 リビエラリゾート

施設所管課 横須賀土木事務所

(平成 22 年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	22.5.14	22.5.21	概ね良好であった。
5月	22.6.15	22.6.23	概ね良好であった。
6月	22.7.15	22.7.27	概ね良好であった。
7月	22.8.16	22.8.26	概ね良好であった。
8月	22.9.16	22.9.30	概ね良好であった。
9月	22.10.15	22.10.29	概ね良好であった。

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

窓口業務の無休化を試行的に実施して、施設利用者の利便性の向上を図る。

身近にある海を通して青少年の育成を支援するため、近隣の幼稚園・小学校の子供たちが、海を通して自然と触れ合う「リビエラ海洋塾」を開催する。

また、学校機関向けの開催だけでなく、ヨット協会や日本マリーナ・ビーチ協会と共催でのヨット教室やマリンウィークの開催など、一般の方も楽しめる教室を開催する。

<実施状況>

窓口業務の無休化を試行的に実施して、施設利用者の利便性の向上を図った。

4月11日「港まちづくり協議会 くるる」の開催の際に「リビエラ海洋塾」を実施した。来港者の方に対し、無料でディンギーヨット、カヤックの乗船体験及びマリンスポーツ等の基本的な技術であるロープワークの技術指導及び体験を実施した。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入		
年間予算額	66,000	66,000		66,000	0
上半期計 (a)	33,000	33,000	()	33,041	△41
下半期計 (b)			()		
4月	5,500	5,500	()	6,099	△599
5月	5,500	5,500	()	4,963	537
6月	5,500	5,500	()	5,116	384
7月	5,500	5,500	()	5,646	△146
8月	5,500	5,500	()	5,614	△114
9月	5,500	5,500	()	5,603	△103
合計 (a+b)	33,000	33,000		33,041	△41

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

特になし

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	該当なし	
支出の状況	車両購入	2,032
	高圧洗浄機購入	431
積立等の状況	該当なし	(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用料	前年同月利用料	前年対比増減率
上半期計 (a)	74,525,580 円	35,715,020 円	108.7%
下半期計 (b)	円	円	%
4月	33,111,170 円	5,061,980 円	554.1%
5月	13,560,520 円	7,587,450 円	78.7%
6月	8,183,870 円	5,857,600 円	39.7%
7月	10,158,870 円	8,364,100 円	21.5%
8月	5,084,020 円	4,357,850 円	16.7%
9月	4,427,130 円	4,486,040 円	△1.3%
合計 (a+b)	74,525,580 円	35,715,020 円	108.7%

利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

利用料が増加した主な原因は、平成21年4月から利用料金の一部が値上げとなることに伴い、平成20年度中に平成21年4月以降の利用に係る多くの申請があったため。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

(施設所管課受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
5月	1					1
月						
月						
月						
月						
月						

報告月	口頭	文書	合計
月			
月			
月			
月			
月			
月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・スロープが滑る。	ゴム草履や滑りやすい履物で作業しないように注意を喚起した。
	・中央栈橋で棘が刺さる。	利用者には口頭で周知している。
職員対応	・	
	・	
事業内容	・該当なし	
	・	
その他	・該当なし	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
4月25日	葉山ジュニアヨットクラブのクラブ員（子供）が棧橋を裸足で歩き、トゲが刺さった。管理事務所の救護室でトゲを除去し、消毒を行った。
5月16日	利用者が本港スロープにて艇を上げる際に足が滑り転倒した。管理事務所の救護室で止血、消毒の応急処置を行った。
5月29日	タクシーが港湾道路に設置してあるクッションドラム及びプランター2基に接触し破損したため、葉山警察署に届出を行った。その後、原因者（タクシー会社）が原状回復した。

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日	該当なし		
月 日			

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>規定類に基づき、利用承認や維持管理業務を実施し、適正な管理・運営を行った。</p> <p>葉山港駐車場の利用料金の徴収事務を行った際に、本来、（財）かながわトラストみどり財団へ納付すべき緑化協力金について、誤って神奈川県に納付してしまったため、還付を受けた。今後は、このようなことがないように適正に実施する。</p> <p>葉山港の利用の事務を行わない日（火曜日）についても、利用者の利便性の向上を図るため、試行的に利用の事務を行う日とし、効果について検証し今後の実施について県と協議することとした。</p>
施設所管課	<p>規定類に基づき、利用承認や維持管理業務を実施し、適正な管理・運営を行った。</p> <p>緑化協力金の誤納付については、今後このようなことがないように注意した。</p> <p>指定管理者から提案のあった利用日の拡大については、砂防海岸課と協議・進達を行いその効果について指定管理者に対して検証すよう条件を付して承認し、今後の実施について指定管理者と協議することとした。</p>